

安全はトヨタの願い —シートベルトを締めましょう



みんな音楽の仲間たち

千葉県オーケストラ フェスティバル
10・10体育の日(水)市川市文化会館ホール

開場1:30 P.M. 開演2:00 P.M.

1990



管弦楽：千葉県フェスティバルオーケストラ
(千葉交響楽団協会ほか)

指揮：佐藤功太郎

音楽監督：三枝成彰

司会：海老原いづみ



みんな音楽の仲間たち

〈ごあいさつ〉

誰もが気軽にお楽しみ頂けるコンサートとして、全国各地で開催されております『トヨタコミュニティコンサート』が、この度千葉県で開催されることになりました。県内の音楽ファンの皆様には、十分お楽しみ頂きたいものと期待致しております。

今回のコンサートは、市川市文化会館大ホールに、テレビ、雑誌等で幅広くご活躍をされている、作曲家の三枝成彰氏をお話と音楽監督に、また、客演指揮者として佐藤功太郎氏をお迎えし、三枝氏の楽しい解説を交えながら、秋の午後のひと時をご一緒にお楽しみ頂きたいと存じます。

ひとりでも多くのかたがたに、生の音楽の素晴らしさを味わって頂けますれば、これに勝る喜びはありません。そして、このコンサートを契機に、音楽を愛する人びとの輪が、一層大きな拡がりを見せ、地域文化向上の担い手となられますことを祈念致しております。

最後に、本コンサートの開催に当り、ご後援を賜りました関係者各位に衷心より厚く御礼申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

本日は、ようこそトヨタコミュニティコンサートに御出で下さいまして誠に有難うございます。

私共は、クラシック音楽による喜びの輪を拡げたいと、地域の方々のご支援を得ながら、それぞれ頑張っているアマチュアオーケストラです。今回は39年の歩みを続けてきた市川交響楽団を中心に、県内オーケストラ代表者参加による臨時編成で演奏致します。皆様楽しんで載きたく、作曲家の三枝成彰先生に総監督をお願いし、東京芸大の助教授であり評判の佐藤功太郎先生を指揮者に迎えて世界の名曲に挑戦して参りました。きっとご期待に添える演奏会になると存じますので、終りまでご静聴下さい。

終りに、千葉県、市川市両教育委員会のご後援に感謝し、ご共催下さいましたトヨタ自動車関係者の方々に厚く御礼を申し上げます。又、皆様にも心を高める純音楽の普及啓蒙に一層のご尽力を賜ります様お願い申し上げます。開催ごあいさつと致します。

千葉県トヨタ販売店グループ代表幹事
トヨタオート千葉株式会社代表取締役社長 鳥海 一郎

千葉交響楽団協会
理事長 村上 正治

プログラム

音楽監督：三枝成彰

《第1部》

〈プロヴァンス組曲〉より「詩城の旅びと」…三枝成彰

— 休 憩 —

《第2部》

交響曲第5番嬰ハ短調……………マーラー



出演者のご紹介

千葉県フェスティバルオーケストラ (千葉交響楽団協会ほか)

千葉県フェスティバルオーケストラは、健全な純音楽の普及と啓蒙をはかり、平和な潤いのある生活を願う県内のアマチュアオーケストラ16団体によって構成されている文化団体です。発足以来35年の歴史を持つ市川交響楽団のある市川市をはじめ、昭和50年前後から相次いでオーケストラが誕生した習志野、船橋、千葉、柏、松戸、我孫子、八千代、銚子の各都市が私達の活動の主たる舞台となっています。各オーケストラとも年2～3回の定期演奏会の他、巡回コンサートなどで広く地域の方々と密着した文化活動を続けておりますが、共通の問題や悩みを解決すべくお互いに話し合う機会を設けたり、県行事にも積極的に参加しております。



指揮：佐藤功太郎 (さとう こうたろう)

1944年東京生まれ。4歳からヴァイオリンを始め、その後、北瓜利世氏にクラリネットを学ぶ。また作曲を石桁真礼生氏に学び、東京芸術大学にて、クラリネットを専攻。後に指揮科に移り、渡辺暁雄氏に師事した。

1968年フルブライト留学生として、ボストンのニューイングランド音楽院指揮科に入学、フレデリック・プラウスニッツ、レオン・バルザン両氏に師事。1969年夏コロラド州アスペン音楽祭にフェローシップ・コンダクターとして参加。1970年ニューイングランド音楽院修士学位を受ける。パークシャー・ミュージック・センターのクーセヴィツキ記念フェローシップ・コンダクターとなり、レナード・バーンスタインに師事する。8月帰国後、京都市交響楽団副指揮者に就任。1972年7月二期会オペラ「ラ・ボエーム」の指揮で東京デビュー、好評を博す。

1974年より1975年11月まで東京都交響楽団の指揮者を務め、同年11月から1年間、文化庁派遣海外研修員としてベルリン・ドイツ・オペラ、ベルリン・フィルを中心に研鑽を積む。1977年5月にはベルリン・リアス放送協会新人演奏会に出演。1978年から2年間群馬交響楽団常任指揮者、1980年4月から3年間京都市交響楽団指揮者、1982年4月から1987年3月まで5年間新星日本交響楽団首席指揮者を務めた。主要オーケストラと活発にコンサートを行っているほか、オペラ指揮者としても非常に高い評価を得ており、ここ2年の間にも、ブリテン「カーリユー・リヴァー」「燃える炉」、團伊玖磨「夕鶴」、ドニゼッティ「愛の妙薬」、ヒンデミット「長いクリスマスの会食」、フンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」、モーツァルト「フィガロの結婚」、プッチーニ「蝶々夫人」、ウェーバー「魔弾の射手」などを指揮している。彼はまた、東京芸術大学助教授として後進の指導にも当たっている。



ピアノ：紅林やよい (くればやし やよい)

3歳よりピアノ、歌を始め、数々のピアノコンクールで入賞、歌番組でも活躍する。ヤマハエレクトーンコンクール世界大会に2年連続入賞。22歳から人に習うことをやめ、独学で音楽を学び18歳よりスタジオミュージシャンとして数々のレコーディングに参加。アレンジ、作曲も手がけ、早見優などにも曲を提供している。現在はピアニストとして活躍している。



音楽監督：三枝成彰 (さえぐさ しげあき)

作曲家。東京音楽大学客員教授。東京芸術大学大学院修了。在学中に安宅賞を受ける。代表作にグランドオペラ「竜恋譜」、オペラ「記憶交換」、交響曲「THE SYMPHONY」、「ピアノ協奏曲」、オラトリオ「ヤマトタケル」など。また、映画「動乱」「魚影の群れ」「台風クラブ」「二十四の瞳」「光る女」「椿姫」「優駿」、NHK「宮本武蔵」「はね駒」などの音楽も手がける。作曲活動のほか、TVキャスターもつとめるなど、各分野で幅広く活躍中。'88日本アカデミー賞最優秀音楽賞受賞、'89アジアパシフィックフィルムフェスティバル最優秀音楽賞、'89イタリアサレルノ映画祭チェザーレ・ザバッティーニ賞など数多くの受賞歴がある。



演奏曲目

三枝成彰

〈プロヴァンス組曲〉 より 「詩城の旅びと」

オペラ「椿姫」の中に「プロヴァンスの海と陸」というアリアがあり、父親がパリに出ていった息子に女をあきらめ美しいプロヴァンスに帰ってきなさい、とさとす内容ですが、たしかにきれいな海と非常に不思議な風景がプロヴァンスにあります。何度でも行ってみたい、そして又、住めるなら住んでみたいと思います。

プロヴァンスという地域はフランスの中でもたいへん魅力的な地域であり、エクサン・プロヴァンスという小さなパリのような町、そしてローマ時代の遺跡が数多く残っている、フランスの中でも古代ローマを感じさせるレ・ボーという「荒城の月」を彷彿させるローマ時代の城も大変美しく、私達の知っているフランスと違うフランスを感じさせることができる地域であり、その中で創造意欲をかきたてられました。

異国的な部分を持ち、オリエンタル・アフリカのにおいを持ち、又ジプシーキングスを生み、アルルの女で有名な「アルル」とフランスの中のスペインというような「プロヴァンス」のたいへん不思議な風景を音楽にした、私の自信作であります。

(三枝成彰—CBSソニー「プロヴァンス組曲」ライナーノートより)

マーラー

交響曲第5番嬰ハ短調

グスタフ・マーラー (1860-1911) は、今日最も人気の高い作曲家の一人でしょう。マーラーの交響曲は編成の巨大さにもかかわらず、レコーディングや舞台での演奏回数はいまやベートーヴェンやモーツァルトと肩を並べるほどになっています。ちなみに昨年売りだされた交響曲のCDの点数は、新盤旧盤合わせてベートーヴェンが64点、マーラーが44点、モーツァルトが42点、ブラームスが32点、そして再評価の高いハイドンを26点となっています。これはCDの点数の上からの比較ですが、舞台だけの演奏回数を見れば、ひょっとするとベートーヴェンを上廻るかもしれません。CDの点数がモーツァルトを抜いて第2位にランキングされたことは、それだけマーラーの音楽が愛好されている証明に違いありませんが、僕にはほとんど信じがたい奇跡のように思えてならないのです。なぜならマーラーは、1960年代に再評価の気運が高まり、一躍脚光をあびるまでは、一部の熱狂的な支持者を除いて、近代音楽史に名を屈める著名な作曲家の一人に過ぎなかったのですから。その点ではサティに似ているかもしれません。

「やがて僕の時代が来るだろう」というマーラーの予言は、まさに適中したわけですが、まさかこれほど熱烈に歓迎されるとは、マーラー自身思ってもみなかったことでしょう。しかもマーラーの人生観や死生観というものは、日本人にとってきわめて解りにくい感覚があると僕には思えてならないのです。

生前のマーラーは作曲家としてよりも、ウィーン歌劇場の黄金時代を築いた世界有数の指揮者として著名で、彼自身の作品の演奏回数もさほど多いものではなく、死後はさらに少なくなっていました。しかし1960年代にマーラーの音楽がにわかに関心を集めるようになったのは、その音楽に表現された精神性が、20世紀後半の象徴とみなされたからでした。つまりマーラーの音楽が、20世紀末を生きる現代人の心理ときわめて親密な構造を持っていると認識されたのです。

ユダヤ人だったマーラーはカトリックに改宗(ユダヤ人がユダヤ教を捨て他の宗教に転向するのがいかに困難か、日本人には想像を絶するものがあります)しましたが、結局、ユダヤ教もカトリックも信仰することができず、常に人生の意味について悩み、疑問を投げかけていました。——人生の目的、死の意味、悲哀と苦悩、そして人間を取り囲むすべての絶望的な状況——それは神の不在という根本的な不安によって、自己疎外という苛める精神から生まれたものでした。大学で精神分析学を専攻した指揮者のシノーポリは、マーラーの音楽には精神分裂的な傾向がある、といっていますが、ストレスがたまり軽いノイローゼにかかっている現代人には、

マーラーの気持が良く理解できるのかもしれませんが。

「マーラーの流行する時代は不幸な時代だ」という名言を吐いた作曲家がいますが、マーラーを愛するあなたは、幸福ですか、それとも不幸ですか？

マーラーは20歳で指揮者としてデビューしてから、信じがたいほど多忙な演奏活動を、その死の直前まで続けました。ブルーノ・ワルターですらマーラーのエネルギッシュな活動についていけず、「ハンブルクの歌劇場で2年、ウィーン歌劇場で6年間を私はマーラーとともに過しましたが、私は彼の緊張感にみちたスピードが弱まるのを一度も見たことはなかった」と述懐しているほどです。マーラーには作曲に使える最小限の時間しかなく、自分はパート・タイムの作曲家である、というほどその少ない時間に全精神をこめて作曲に没頭しました。事実、マーラーの作品はさほど多くありません。9曲の交響曲と未完の「第10番」、「大地の歌」「なき子をしのぶ歌」がメイン・ワークになっていますが、どの曲も傑作の名にはじない内容と精神性、そして雄大な規模を有しているのは、まさに驚くべきことといえるでしょう。

交響曲第5番は1901年から翌年にかけて作曲され、1904年の10月にケルンでマーラー自身の指揮で初演されました。マーラー自身、「この第5交響曲をもって私の新しい創作期が始まった」と述べているように、それまでのマーラーの交響曲には見られない、新しい世紀の幕開けを象徴するようなみずみずしい生命力と、濃密で甘美なロマン性、そして原色的な色彩感が無限へと向って放射されるような気迫がこめられています。マーラーは「とてつもなく作曲が難しい。この作品には最大限に成熟した技術が要求される。見かけの上の混乱は、ちょうどゴシック様式のドームのように最高の秩序と均衡をもって解決されなければならない」と友人に語ったといわれていますが、生と死、夢と現実、昼と夜、歓喜と苦悩、運命と人生という対立的なテーマが、熱くたぎるルツボのなかで混合され、超自然的な高みにまで昇華されているのです。

全体は5楽章で書かれていますが、第1部(1、2楽章)、第2部(3楽章)、第3部(4、5楽章)で構成されており、1楽章と4楽章は、それぞれ次の楽章の長大な序奏という性格を有しています。また4楽章アダージェットは、今日のようなマーラー・ブームの興る以前から、オーケストラのレパートリーとして定着しており、ヴィスコンティが映画「ベニスに死す」で用いたこともあって、この曲を大変有名なものにしました。

〔第1部〕

第1楽章 嬰ハ短調 2分の2拍子 「葬送行進曲 精確な歩みで、厳格に、葬列のように」

トランペットの悲劇的なファンファーレによって開始される葬送行進曲。「エロイサ」の第2楽章にオーバー・ラップし、嘆きはやがて激情の嵐に変化していきます。

第2楽章 イ短調 2分の2拍子 「嵐のように激して、より一層激しく」

闘争的な激しさと、若々しい躍動感に貫かれた楽章。

〔第2部〕

第3楽章 ニ長調 「スケルツォ 力強く、速すぎずに」

前2楽章とは対象的な明るい舞曲。

〔第3部〕

第4楽章 ヘ長調 4分の4拍子 「アダージェット 大変遅く」

穏やかな幸福感あふれる楽章。ハープと弦楽合奏のみによって演奏されます。

第5楽章 ニ長調 2分の2拍子 「ロンド＝フィナーレ アレグロ、活発に」
全金管楽器が大活躍して壮大なクライマックスを築いていきます。



オーケストラの出演者

千葉県フェスティバルオーケストラ (千葉交響楽団協会ほか)

○印：コンサートマスター

第1 ヴァイオリン	
○ 松山和子(市)	
亀井玲子(市)	
鳥塚昭子(市)	
長尾浩行(市)	
永田匡(市)	
広浜浩二(市)	
福井康祐(市)	
渡辺千恵子(市)	
森田朋子(市)	
堤哲児(市)	
福原祥子(市)	
鈴木志のぶ(シ)	
伊藤葉子(船)	
蓮尾ひとみ(船)	
池田美佐子(船)	
岡本誠司(習)	
小磯智功(贊)	
小北由美子(贊)	

第2 ヴァイオリン	
石本恵理(市)	
上野久雄(市)	
上野洋子(市)	
栗林えみ(市)	
小島由美子(市)	
根守弘和(市)	
深沢武夫(市)	
松延裕子(市)	
溝田範子(市)	
村上葉子(市)	
福田徳子(市)	
飯島かおり(市)	
本山厚子(シ)	
山岸万紀(贊)	
大前撰津子(贊)	

ヴィオラ	
久保木佳代子(市)	
斎藤十一郎(市)	
高橋行継(市)	
星乗昭(市)	
横田行雄(市)	
渡部玲子(市)	
大豆生田稔(市)	
村上賢一(市)	
遠藤利幸(市)	
小川京子(シ)	
服部裕一(習)	
阪上耕三(習)	
金坂隆(千)	
橋田知栄子(ユ)	
真野絹子(贊)	

チェロ	
倉沢由和(市)	
中村公一(市)	
樋口進(市)	
福原耕二(市)	
山口勝之(市)	
佐藤千鶴子(シ)	
関正行(贊)	
奥和田久美(贊)	
辻高宏(贊)	
尾崎真美(船)	

コントラバス	
菊池克彦(市)	
三輪泰之(市)	
村上信乃(市)	
内田葉子(吹)	
小室昌広(ユ)	
永井隆士(贊)	
高橋耕一(贊)	
鈴木重則(贊)	

フルート	
木村純一(市)	
木村真論紀(市)	
白木裕子(市)	
大橋正明(贊)	

オーボエ	
森田直輔(市)	
荒井淳(市)	
宇田川知子(シ)	
小長井重信(千)	

クラリネット	
市川正幸(市)	
時田雄(市)	
吉野智久(市)	
清田茂(贊)	

ファゴット	
小島厚(市)	
戸川安道(市)	
菅原斉(千)	

ホルン	
志賀恒夫(市)	
越塚康央(市)	
山口幸治(市)	
河野和正(市)	
鹿島典子(市)	
水田ひろし(贊)	
近藤泰平(贊)	

トランペット	
安藤宣明(市)	
一樹泰一(市)	
加地光(市)	
新井本昌宏(市)	
瀬宮ゆり(贊)	

トロンボーン	
藪崎裕至(市)	
久保昭(市)	
服部暉吉(市)	
糸秀樹(市)	
梶谷妙絵(市)	

チューバ	
加藤力也(吹)	

打楽器	
岩崎正治(市)	
大川勝之(市)	
金原靖(吹)	
山岸篤司(贊)	
加藤真樹(吹)	

ハーブ	
佐野ひとみ(千)	

トレーナー	
津田雄一郎	

(市) 市川交響楽団
 (習) 習志野フィルハーモニー管弦楽団
 (千) 千葉市管弦楽団
 (シ) 市響ジュニアオーケストラ
 (船) 船橋フィルハーモニー管弦楽団
 (ユ) 習志野ユースフィルハーモニーオーケストラ
 (吹) 市川吹奏楽団
 (贊) 賛助出演

千葉交響楽団協会【団長名 創立年月 団員数】

- 市川交響楽団【村上正治 昭和26年 100名】〒272市川市新田2-33-10
- 習志野フィルハーモニー管弦楽団【金子寛 昭和44年 8月 140名】〒260千葉市轟町5-6-15
- ウインドミル・オーケストラ【大久保幸光 昭和49年 4月 80名】〒275習志野市秋津4-13-11
- 千葉市管弦楽団【古川俊幸 昭和49年 12月 60名】〒272-01市川市塩浜4-2-29-1108
- 八千代交響楽団【武田絹子 昭和49年 12月 48名】〒276八千代市村上3656-4
- 市響ジュニアオーケストラ【村上正治 昭和50年 5月 86名】〒272市川市市川南3-5-26
- 柏交響楽団【南俊晴 昭和52年 2月 60名】〒277柏市柏3-6-9
- 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団【市村邦一 昭和53年 8月 65名】〒270-11我孫子市つくし野7-25-16
- 松戸シティフィルハーモニー管弦楽団【桑原七男 昭和55年 5月 73名】〒270松戸市新松戸3-3-2アゼリアパークハウスA-1107
- 船橋フィルハーモニー管弦楽団【岩野英穂 昭和55年 6月 91名】〒281千葉市幕張2-2456-15
- 船橋ジュニアオーケストラ【富田順子 昭和56年 5月 70名】〒279浦安市富士見5-4-15
- 佐倉フィルハーモニー管弦楽団【井出潔 昭和58年 10月 70名】〒285佐倉市海隣寿町31
- 成田フィルハーモニー管弦楽団【小倉千秋 昭和61年 3月 26名】〒286-01成田市三里塚1-720
- 習志野青少年交響楽団【平成元年 4月 1日 60名】〒274船橋市田喜野井2-5-18
- 習志野ユースフィルハーモニーオーケストラ【稲垣麗 昭和59年 8月 50名】〒275習志野市津田沼7-17-3サンハイツ津田沼103
- ちば室内管弦楽団【海宝長志 平成元年 6月 15名】〒275習志野市香澄1-3-7-201



【主 催】

千葉交響楽団協会
千葉県トヨタ販売店グループ

【後 援】

市川交響楽団協会
千葉県教育委員会
市川市教育委員会
千葉県音楽振興協議会
千葉テレビ

【協 賛】

トヨタ自動車株式会社

【協 力】

日本アマチュアオーケストラ連盟(JAO)